

1 関係機関等との連携・ネットワーク強化

番号	項目	内容
1	関連機関等とのネットワークの構築・連携強化	<p>【取組計画】 平成30年8月22日(水)さらに平成31年2月に、関係機関、民間団体等で構成された「あま市自殺対策ネットワーク会議」を開催し、自殺対策に係る情報交換等を行う。 会議での情報交換等を通じて、各機関の取組み等を密接に連携させ、地域全体で自殺対策に取り組む気運を高め、あわせて体制を確保する。</p> <p>【取組結果】 平成30年8月22日(水)さらに平成31年2月13日(水)に、関係機関、民間団体、行政等で構成された「あま市自殺対策ネットワーク会議」を開催した。会議での情報交換等を通じて各機関の状況確認を行い、地域全体で自殺対策に取り組む気運を高め、あわせて体制を確保することにつなげることができた。</p>
2	相談等を行っている民間団体等の活動支援	<p>【取組計画】 関係課及び津島保健所等の協力を得ながら、あま市内で相談等を行っている民間団体等の活動を把握するとともに、今後、どのような活動支援が行えるかを検討する。 現状把握を行い、団体の状況に応じた支援方針・方法を決定する。</p> <p>【取組結果】 津島保健所及び市民活動センターへ関係団体等の活動状況の把握を行った。 また、情報収集・提供、連携等の活動支援について、来年度以降の支援のあり方について検討を行った。</p>

2 気づきのための人材育成

番号	項目	内容
1	職員の資質向上	<p>【取組計画】 平成31年1月26日(土)、南山大学森山花鈴氏を講師に職員約400人を対象に「自殺」や「自殺関連事象等に関する正しい知識の知識」に関する研修(講演会)を開催する。 研修により、職員の自殺に対する知識を深め、自殺対策及び自殺対策計画の総合的効果的な推進を図る。</p> <p>【取組結果】 平成31年1月26日(土)、南山大学森山花鈴氏を講師に職員約400人を対象に「自殺に関する知識」「自殺対策の重要性」について研修を開催した。 職員の自殺に対する認識及び理解を確認するため、アンケート調査を実施した。</p>
2	民生委員・児童委員等におけるゲートキーパーの養成促進	<p>【取組計画】 平成30年11月6日(火)、愛知いのちの電話協会事務局長兼田智彦氏を講師に(美和地区)民生委員・児童委員等約30人を対象に、「ゲートキーパー養成講座」を開催する。 講座の受講を通して、「ゲートキーパー」の役割を担う地域支援者を増加させるとともに、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人材を養成する。</p> <p>【取組結果】 平成30年11月6日(火)、愛知いのちの電話協会事務局長兼田智彦氏を講師に(美和地区)民生委員・児童委員等39人を対象に、「ゲートキーパー養成講座」を開催した。講座アンケートの結果、受講者の9割以上から自殺や自殺に対する理解が深まったと回答いただき、講座を通して、「ゲートキーパー」の役割を担う地域支援者を増加させるとともに、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人材を養成することにつながることができた。</p>

3 市民への普及啓発

番号	項目	内容
1	自殺や自殺関連事象等に関する正しい知識の普及啓発	<p>【取組計画】 自殺や自殺関連事象等に関する正しい知識の普及やゲートキーパーの役割について関心を高めることができるようリーフレットを作成し、9月開催予定の敬老会及び1月開催予定の成人式で配布する。 (啓発目標数)平成30年度 2,500人以上</p> <p>【取組結果】 平成30年9月1日(土)、8日(土)、15日(土)開催の「あま市長寿を祝う会」及び平成31年1月13日(日)開催の「あま市成人式」において、リーフレットの配布を行い、自殺に関する正しい知識、相談窓口情報等の普及啓発を行った。 (啓発数)平成30年度 3,100人(長寿を祝う会 2,200人 成人式 900人)</p>
2	アルコールに関する正しい知識の普及啓発	<p>【取組計画】 11月11日(日)開催予定の「健康福祉まつり」において、民間団体(断酒会)の協力により、アルコールに関する正しい知識の普及啓発を行う。 (啓発目標数)平成30年度 100人以上</p> <p>【取組結果】 11月11日(日)開催予定の「健康福祉まつり」において、民間団体(断酒会)の協力により、自身のアルコールに対する適応性を把握し、飲酒による事故等の未然防止に役立てていただくためのアルコールパッチテストやアルコールに関する正しい知識の普及啓発、相談等を行った。 (啓発数)平成30年度 196人</p>

4 ハイリスク者に対するアプローチ・支援

番号	項目	内容
1	市内精神科医療機関等との連携による相談事業の実施	<p>【取組計画】 自殺の原因として多くを占める、うつ病をはじめとする心の病についての相談体制を充実させるため、市内精神科医療機関との連携による相談事業の実施を検討する。津島保健所や他市町村の実施状況を確認し、1月の自殺対策本部会幹事会部会(各課の担当者による会議)で、相談会の対象者等を検討する。</p> <p>【取組結果】 自殺の原因として多くを占める、うつ病をはじめとする心の病についての相談体制を充実させるため、市内精神科医療機関との連携による相談事業の早期実施に向けて、津島保健所や他市の実施状況の調査研究を行った。 また、既存のこころの相談事業室と本相談事業のすみわけ(対象者や相談内容の整理)や相談事業担当保健師に対する研修を行った。</p>
2	相談窓口情報の広報対象者数の増加	<p>【取組計画】 庁舎内において実施する各種相談事業のいずれの場においても、対象者の問題に応じた適切な各種相談窓口を紹介できるよう、関係課担当者により構成された自殺対策本部幹事会部会において情報交換を行い、12月初旬までに相談窓口周知用のチラシ案を作成する。作成したチラシ案について、1月の幹事会部会で配布場所・機会の検討を行い、平成31年度より配布する。</p> <p>【取組結果】 庁舎内において実施する各種相談事業のいずれの場においても、対象者の問題に応じた適切な各種相談窓口を紹介できるよう、相談窓口周知用のチラシ案を作成した。 今後、必要に応じてチラシが配布できるよう、幹事会(部長級職員及び関係課長による会議)及び幹事会部会(各課の担当者による会議)を通して関係課に周知を行った。</p>

4 ハイリスク者に対するアプローチ・支援

番号	項目	内容
3	うつ病の早期発見	<p>【取組計画】 乳児訪問、健康教育などの場において、うつ病やこころの状態を把握するスクリーニングを実施し、うつ病等の早期発見・治療につながるように適切な情報提供、必要に応じた支援を行います。 ○乳児訪問時にエジンバラ質問票を年間700件実施する。 ○11月11日開催予定の「健康福祉まつり」のストレスチェックコーナーにおいて、うつ病のスクリーニングを30～40件実施する。 ○地域の職域の対象者への働きかけについて、津島保健所等から情報収集し検討する。</p> <p>【取組結果】 ○乳児訪問時にエジンバラ質問票を593件実施した。質問票の実施により、産後の母の抱えている問題を把握するきっかけとなり、その後の支援へつなげることができた。また医療機関との連携により、ケースの早期把握ができ、適切な支援・助言をすることができた。 ○11月11日開催した「健康福祉まつり」のストレスチェックコーナーにおいて、うつ病のスクリーニングを94名に実施した。94名中うつ傾向の強かった方等の3名に声をかけ、自殺予防のリーフレット及び自殺関連の相談窓口の一覧表を配付した。 ○津島保健所地域・職域連携推進事業作業部会に参加し、事業所への健康づくり支援について検討を行った。</p>

5 児童生徒のSOSの出し方に関する教育の推進

番号	項目	内容
1	SOSの出し方に関する教育の調査・研究	<p>【取組計画】 各学校におけるこころの健康づくりや学校保健委員会及び緊急ケース会議の検討内容等を把握するとともに、「SOSの出し方に関する教育」の市内全小中学校での実施に向け、対象及び実施方法等を担当者と協議を行う。 また、「SOSの出し方に関する教育」や生命を尊重する心の育成が自殺予防につながることに十分理解されるよう、学校に周知を行う。</p> <p>【取組結果】 「SOSの出し方に関する教育」や生命を尊重する心の育成が自殺予防につながることに十分理解されるよう、学校に周知を行った。 また市内12の小中学校において、全校生徒もしくは一部の学年(合計4,239人)を対象に、リーフレットの配布や保健室前の設置、全校集会などの場においてSOSの出し方に関する教育を実施した。</p>